

スポーツ活動

“感動創造企業”を理念に掲げるヤマハ発動機グループは、事業の枠を超えて、参加する人だけでなく応援する人々も一体となって新鮮な感動を共有することができるさまざまなスポーツ活動を、積極的に進めています。

スナップショット

トップインタビュー

特集

事業の概況

CSR情報

企業情報

財務セクション

レース活動

世界に示したヤマハの存在感

ヤマハは、スピードへの挑戦を通じた先行的技術の開発・検証を試み、困難な目標に対しても粘り強く取り組む精神を養い、世界の人々と感動を共有することができるレース活動を、ヤマハらしい「挑戦するところ」を世界に示す重要な場として位置づけ、創業以来、国内外のモーター・サイクル・レースへ積極的に参加してきました。

2012年も、ロードレース世界選手権の最高峰MotoGP(モト・ジープー)クラスでヤマハ・ファクトリー・レーシングのホルヘ・ロレンソがシリーズ全18戦中、優勝6回・準優勝10回という見事な成績により世界チャンピオンの座を奪還しました。国内においてもヤマハ・YSP・レーシング・チームの中須賀克行が全日本ロードレースJSB1000クラスでチャンピオンを獲得。また代役参戦したMotoGP最終戦バレンシアGPでは準優勝を飾りました。また黒山健一が全日本トライアル選手権シリーズ(全7戦)で史上2人目となる全勝優勝を成し遂げ、世界にヤマハの存在感を示しました。



ラグビー

ヤマハスタジアムの熱い声援とともに

フェアプレー精神と“One for All, All for One”のチームワークに支えられ、鍛え上げられた肉体と研ぎ澄まされた戦術を駆使して、勝利を目指す——ジャパンラグビートップリーグに所属するヤマハ発動機ジュビロは、個人の自主性を活かした活力ある企業風土から感動を生む価値を創造するヤマハ発動機の姿を象徴するチームとして、多くのグループ社員に親しまれています。ホームグラウンドのヤマハスタジアムでは、観客のひとつになった熱い声援がこだまし、選手達の素晴らしいプレイの支えとなっています。

2013年2月には、日本代表メンバーとして、センターにサウ選手、フルバックに五郎丸選手が選出されました。ヤマハ発動機ジュビロの2013年の活躍にもご期待ください。

スポーツ振興

世界に翔ばたく逞しい人材を育成

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)では、豊かな人間性を養う上で効果的なスポーツを通じ、世界に翔ばたく逞しい人材の育成を目指すスポーツチャレンジ助成事業、心身ともに健全な子どもたちの育成に寄与するため、教材提供を通じたスポーツ機会の促進やジュニアヨットスクールなどのスポーツ振興支援事業、チャレンジスピリットの喚起・醸成のためのスポーツ文化・啓発事業を推進しています。

2012年は、助成事業で26名の体験・研究・奨学生の支援を行いました。また、全国182の小学校などへの教材提供や、ジュニアヨットスクール葉山の運営、スポーツチャレンジ表彰などを展開しました。

スナップショット

トップインタビュー

特集

事業の概況

CSR情報

企業情報

財務セクション

